

編集後記

「技術の歩み」をご覧頂きどのように感じられたでしょうか？取りまとめに当たった者として、とても気になるところです。

JAGREE 誌 50 周年記念特集号の企画を広報委員会で議論したのが 1 年以上前。そこで出てきた発言の一つが、「これまで農業農村整備に果たしてきた協会の役割をまとめ世に伝えられないか。」というものでした。議論の末、このことが「技術の歩み」のコンセプトとなりスタートしました。しかし、理論はあれど実践は難しの如く、結局は今回の JAGREE 誌でご覧頂いた内容になってしまいました。とはいえ、多くの会員のお力を得てとりまとめた内容やプロセスはやりがいのあるものでした。少しは協会の果たした役割を感じ取って頂けたのではないかと考えています。

今回は、技術と製品の羅列と受け取られかねない内容になっていますが、技術と製品の開発と現場への適用には、それぞれ人知れぬプロジェクト X があります。次回、もう少し掘り下げてお届けする機会があることを期待したいと思います。50 年後かな？

(A.T 記)

創立 50 周年記念事業のテーマは「未来を拓く人材と技術」であり、記念事業は未来志向の事業が並んでいるのですが、一方で過去の活動をまとめて記録しておくことが周年事業における事務局に課せられたお約束と理解し、「協会小史」の作成に取り組みました。

それにしてもこの 20 年の環境の激変の中で、経営を担ってきた役員の皆様や事務局職員の多くが存続の危機を強く抱いていたことは容易に想像することができました。様々な困難を乗り越えてこられた関係者の皆様にあらためて敬意を表したいと思います。

本来であれば、こうした原稿は、かくも困難を乗り越えた諸先輩方により培われた協会の精神・風土といったものを次世代の方々に伝えることが役割だと考えますが、この点は全く自信がありません。創立 60 周年記念号にご期待いただきたく存じます。(多分、自分は書かないだろうと思いますが。)

最後になりますが、執筆に当たり事務局職員の皆さんから基礎資料の提供等の大きな貢献があったことを申し添えます。

(K.Y 記)

本誌の中の投稿文の内容や意見は、執筆者個人に属し、公式見解を示すものではありません。

JAGREE (No.99)

2020 年 11 月発行 (非売品)

発行人 山田 耕士

発行所 一般社団法人 農業土木事業協会
東京都港区新橋 5 丁目 34-4
農業土木会館

電話 03 (3434) 5437

FAX 03 (3435) 7210

<http://www.jagree.or.jp>